

障がいのある方の 地域での暮らし

令和7年度「障がいのある方の地域での暮らしについて」アンケートまとめ



大北障害保健福祉圏域自立支援協議会 障がい理解の啓発活動をする部会では、障がいのある方々が安心して地域で暮らしていくために、地域の方などに障がいに対する理解を深めて頂き、偏見をなくし、一緒に支えて頂けるよう啓発活動を行っています。活動の一環として当事者の方、家族の方から率直なお声を伺い、「障がいのある方の地域での暮らし」としてまとめました。



発行：大北障害保健福祉圏域自立支援協議会
障がい理解の啓発活動をする部会



地域で嬉しかったこと 助かったこと

遠く迄の運転ができなくて
知人が助けてくれました。

多くの方の助けが得られた事で
私自身の生き方に希望がもてた。

急であっても
受け入れてもらえて、
ありがたいです。

SOSにもすぐかけつけてくれたことの
親に応援団がいると感じられる。

となりぐみのひとたち
やさしいです。おしごと
がうれしおもしろい。

「困った時は声を掛けてね」とか
声を掛けてくれるのでありがたいです。

発達障害の息子の子育てがうまく行
かず、頼れる親戚もおらず、気持ち病
んだ時に保健センターで相談したらすぐ
動いてくれて、今の療育園に入ることが
できた。療育園でも、息子と私ともに真
摯に向き合ってくれて感謝一杯。子育
てに対する配慮に救われた。

あいさつをすれば
あいさつしてくれる

いろいろの事に気軽に相談に
のってもらえる友人知人が
多くいる事

例えば、静かに待たなければ
いけない待合でも周りと同じ
ようにしていることが難しいため、
仕方ないことだと思っても
とても憂鬱に感じます。

県外から来たので
地域のことがわからない

誰かに何か言われた訳では無いが、
外出先で他人に迷惑をかけたかどうか
思うとなかなか気軽に言えられない。

集団の中に入っていくことが難しい

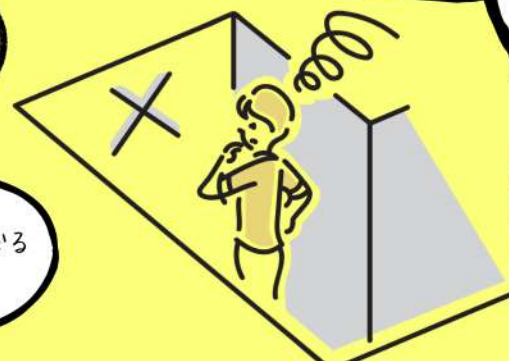
サービスを使おうと思って
もうまくあう、
事業所がない。

障がい者雇用が
少ない。

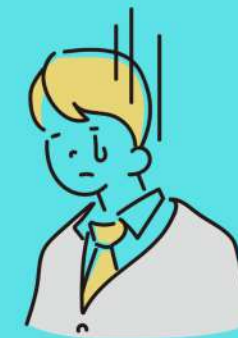
理解されづらいと感じる
場面が多々ある。

動きたいときに
動けない
(あしがない)

地域生活の中で、仕事の休みがとれ
ない時など一緒に連れて行く事も預ける
事もできず、地域の方に事情をお話して
も「自分も仕事だから」とか「うちも小
さい子供がいる」となかなか理解され
ず困っています。



地域での困りごと・暮らしにくさ



地域で悲しかったこと 理解してほしいこと

地域の医療機関にかかった時
いろいろ見られました。

子供が小中学校の頃
他の父兄からの偏見が
何度となく感じる場面が
あり辛い思いをした。

話し合いも、次回につなげる
わけでもなく「検討します」で、
そのまま終わってしまう。

体に障がいはなく、見た目ではわか
りにくい障がいなので、その障がいの特徴
等をわかってもらえず、自分の思う事も
うまく伝えられないので、悲しく思う時
があります。

孤独感

1人1人の個性や特性を
理解して寄り添ってもら
うことの難しさ

サービスを探している時に、
需要がないからと
断られたりした事。

子どもが集団行動が苦手だったため、
親子ともに孤立している
(と感じる)事が多かった。

子どもの可能性を
あきらめられて
しまうこと

あそこには、
おかしい人が
居ると近所の人に
うわさされた事

困りごとをきいて
対応してくれたが、
担当によって対応の
しかたが異なる

地域の方が挨拶してくれた時
に挨拶を返せなかったり、それをそ
の場で障害のことを話せることもあ
れば、話せず印象の面で誤解を生
ませてしまうこと。

買い物に行く際もその場に座り込んでしまっ
たり、本人が不安になると泣き出して大声を出して
しまうので、年々外に出られる場所が少なくなって
いくと感じる。

車いすを使用しているが
勝手に手を出される。
困っていると思われる

養護学校卒業後、施設入所ができな
かった場合、親の働いている時間預かっ
てもらえる事業所等がないため、夫婦ど
ちらかが仕事を辞めなければならない
可能性が高いこと

大勢の人や行った事のない場所に入れない
ため地域の行事には全く参加できません。

自立して暮らすようになると
対人関係や地域(自治体)での
決まり事などで困る事がでてくる

「ちょっと手伝ってくださいませんか」と、
誰かにお願いしたくなる時、
その誰かをみつけるのが大変難しい。

バギーでの移動のため、
狭いお店や場所へは入れ
ないため行く所が限られて
しまう。

人見知りをするので近所の人とかか
わりの人が出来ない。
なれない人に話しかけられるのが怖い。